

ふるさと教育 取組事例

学校名		津和野町立津和野小学校	
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な学習の時間 社会科 食と学びの子ども広場	日本遺産津和野百景図の活用 のためにできることを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産津和野百景図 ・日本遺産センターコンシェルジュ ・鷺舞、流鏝馬保存関係者
ねらい	津和野百景図に出てくる150年前の津和野を五感で体験し、まちの未来につなげる活動を通して、まちのことを考える。		
<p>1 取組の概要</p> <p>今年度、津和野百景図が日本遺産取り消しになるかもしれないという危機をきっかけに、津和野の150年前の景色を描いた百景図を今後150年後もつなげていくために、自分たち自身があらためて百景図について学ぶとともに自分たちに何ができるか考えて行動する。</p> <p>総合的な学習の時間を中心に探求的な学びを深めるとともに、社会科の歴史学習においても教科書で取り扱う全国的な内容と併せて、当時の津和野町の歴史についても触れる機会を設け、津和野町の歴史を多角的な視点で捉えられるようにしている。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>ふるさと津和野の歴史、伝統文化にリアルに関わる人に話を聞くことで、より深く地域について理解する。</p> <p>地域の良さだけでなく、あえて負の側面にも触れさせることで、リアルなひとの思いやまちの現状から子どもたちの主体性を引き出し、地域の一員であるという意識を高める。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>社会科の歴史学習では副読本「津和野の歴史」をいつも机に置いておき、日本や世界の動きの中での津和野町のその当時の様子を確認しながら進めることでよりリアルに津和野の歴史を感じることができ、津和野で育む学力(津和野に対する知識・理解)を身につけることに繋げる。(「そのころ津和野では…?」)</p> <p>創造する力を高めるために、多様なひとの思いにふれることができるような場を設け、アイデアを対話的に考えることで、より深い考えにつなげる。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>地域(地域課題)への関心を高め、学校外の様々な地域の活動に積極的に参加する子が増えた。中には、来年はボランティアとして関わりたい、企画してみたいと地域での活動に対する意欲を高めている子も見られた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>様々な対象者がいることで、相手に応じた表現方法の工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わりやすい文章表現 ・グラフィックレコーディングなどを活用した図解表現する力 ・プレゼンテーション能力 <p>津和野の歴史に対する知識・理解の高まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津和野のことを知らない人に自分の言葉で津和野の歴史や良さを伝えることができる。 			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

4 課題や今後の展望

実際にアイデアを出したものを実現するまで至っていない。教育課程の中で子どもたちの思いを形にするには時間的、人的に限界があるが、子どもたちのやってみたくて寄りそう大人と出会う場や機会を学校内外につくっていくとともに、まずは子どもたちがやってみたくて言える地域(大人)の雰囲気を出していく。

【学校（授業）での学び】



【地域で、もっと知りたいことを学ぶ、ふれる】



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)